

単元名 8 表現を見つめる 一言葉3 話し言葉と書き言葉

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えることができる。
(3) 今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとする。

標準的な展開例

11210305_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 話し言葉と書き言葉の違いについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★話し言葉と書き言葉の違いについて考えよう。 ○ 導入の例文を読み、話し言葉と書き言葉の違いについて考えをまとめる。 <p>○ 考えたことを発表する。</p> <p>○ 話し言葉と書き言葉の特徴を確認する。</p> <p>2 音声の特徴から話し言葉を捉え、文字の特徴から書き言葉を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。 <p>★話し言葉と書き言葉を生活に生かそう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 音声の特徴から話し言葉を捉える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同音異義語の伝え方を考える。 ○ 文字の特徴から書き言葉を捉える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字、平仮名、片仮名、句読点、常体・敬体の使い方に注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活の話題を、簡単な話し言葉と書き言葉で表現してその違いに気付かせるとよい。 <p>【評】話し言葉と書き言葉の違いについてまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノートなどを見直して、話し言葉と書き言葉の特徴を復習する。 ・ 「市立」と「私立」のように、同じ発音の言葉は、読み方を変えるなど区別することを押さえる。 <p>【評】話し言葉の特徴を理解する活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「書くことに生かす」(p.221)を用いて、聞き取った内容を文章で伝える学習につなげることができる。 <p>【評】書き言葉の特徴を理解する活動を通して「知識・技能」を評価する。</p>

【 備 考 】

第2学年における最終のまとめである。ここでは、様々な文章に触れながら、読んだり書いたりする力をより確かなものにするとともに、人間の様々な営みを見つめさせていく。物語の登場人物は、置かれた状況により様々な側面を見せる。そうした様々な人間の営みに触れるとともに、言葉を通して自らを見つめ直し、人間に対する理解を深めさせたい。

言語活動としては、一年間の学習のまとめとなる壁新聞を作成して発表する際、自分の考えを広げるために、互いの考えについて意見を述べたり助言をしたりする活動がある。この活動は、今後の学習にも生活にも役立つことだろう。

また、多感なこの時期の生徒は、自分や他人を肯定的に見られなくことも多い。批判的に見ることは、新たな発見や成長につながることであり認めた上で、自分との関わりから人や物事を見つめ直す経験をさせ、人間に対する理解を深め、たくましく生きていく力を養いたい。